

第1章 策定にあたって

1.1 策定の趣旨

1.2 水道ビジョンの位置付け

第1章 策定にあたって

1-1 策定の趣旨

笠岡市の水道は、昭和29年に給水を開始して以来、6次にわたる拡張整備事業を行ってまいりました。創設当時から慢性的な水不足に悩まされてきましたが、現在は岡山県西南水道企業団から全量受水（契約水量40,000m³/日）を受け、市民に給水を行っています。水道は、健康で快適な生活や産業活動を支える重要なライフラインであり、『安全で安心できる良質な水の安定供給』に努める一方で、常に効率化を図り、健全な財政を保ちながら事業運営を行っています。

近年、人口の減少と少子高齢化の進行、情報通信技術の進展、地球規模での環境問題への取り組みなどに加え、市民の価値観の多様化とまちづくりへの市民参加意識の高まりなど、これまでにない大きな時代の変化を迎えています。

また、水道事業を取り巻く環境においても水需要の低迷や老朽化施設の更新、水道事業職員の大量退職、規制緩和の促進、水道水質基準の強化、地方分権など大きく変化してきています。

このように、社会情勢が大きく変化するなか、市民生活と産業活動に欠かすことができないライフラインとして、本市の水道事業が安全な水を安定して供給していくためには、事業運営の方向性を見定めることが肝要であり、利用者のニーズに即した水道としてふさわしい水道経営のあり方を考えていく必要があると考えております。

今後、本市の水道事業の経営は、これまでのような料金収入の増大を前提とした事業経営から、料金収入が伸びない中での効率的かつ合理的な事業経営にシフトしなければなりません。『安全で安心できる良質な水の安定供給』を継続していくためには、『拡張の時代』から『維持更新の時代』に転換した中で新たな発想による事業経営が求められているのです。

以上の趣旨をもって、今後の笠岡市水道事業のあるべき姿に向けて、安心・快適な給水の確保、災害対策の充実、環境・エネルギー対策の強化、お客様サービスの向上、水道の運営基盤強化を目標とする『笠岡市水道ビジョン』を策定いたしました。

1-2 水道ビジョンの位置付け

この水道ビジョンは、本市の水道事業の現状と課題を明確に示し、平成28年度までの10年間の水道経営の方向性と具体的な施策を推進するための基本的な考え方を掲げたものです。

この水道ビジョンに掲げた個々の事業の実施にあたっては、財政的な検討を加えた中で、水道を取り巻く社会環境の変化を考慮して、効率的かつ効果的な事業になるよう着実な進行管理を行います。また個々の施策については、水道を取り巻く社会環境の変化に応じて適宜、見直しを行います。